

## 研究背景

## 現状と問題点

シャンプーの体感音は気導音と骨導音で構成されるがそれぞれの周波数特性が不明確である

付加価値

使用感の向上



気導音  
骨導音

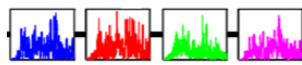


## 研究目的

## 本研究の目的

異なる実験条件  
測定, 評価

気導音と骨導音  
特性を把握



感性と成分を結ぶ  
感覚推定モデル式の構築



## 研究内容

### 気導音

洗浄音(髪の毛を洗う音)



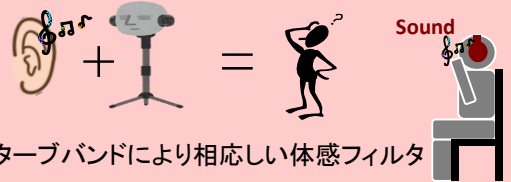
評価:  
・快適感  
・癒される感

成分による気導音  
モデリング



### 骨導音

体感音は**気導音**+**骨導音**による複合刺激  
体感音の印象に与える体感特徴を把握



例:  
オクターブバンドにより相応しい体感フィルタ  
作り  
『骨導音の印象が良くなる条件を導出』

### 体感音

評価実験  
因子の抽出

### 感覚推定モデル 構築

感覚推定モデル要因決定

ニューラルネットワーク

モデル構築